

新居浜ロータリー会報

JULY
2023

7



槌の伝達式 小野正師会長から明星元新会長へ

● クラブ基本方針
《'23- '24》

ロータリーをもっと楽しもう

● 国際ロータリーテーマ
《'23- '24》

世界に希望を生み出そう

目	次
会長活動回顧	4
幹事活動回顧	4
SAAを終えて	5
活動回顧	5
新居浜RC100年ビジョンの発表	9
自己紹介と昭和のお話	10
私の宝物 ヤクルト選手のサイン色紙 オープン戦 新居浜開催に奔走...	13
例会記録	15
ニコニコBOX	16

2023年6・7・8月例会と行事予定

6月（親睦活動月間）		7月	8月（会員増強・新クラブ結成推進月間）
1日	・委員会活動回顧（Ⅰ） （職業・社会・人尊 国際・財団・米山 青少年・RA・IA）	5日（水） ・会長運営方針 ・委員会活動方針（Ⅰ） （職業・社会・人尊 国際・財団・米山 青少年・RA・IA） ・情報雑誌 *曜日注意!	3日 ・内部卓話 新入会員（田川稔会員） ・情報雑誌
8日	・委員会活動回顧（Ⅱ） （クラブ奉仕・プログラム・出席 増強・分類選考・広報 情報雑誌・会報・親睦） ・家庭集会（18:30～） （新旧理事・副幹事・副会計）	13日 ・委員会活動方針（Ⅱ） クラブ奉仕・プログラム （出席・増強・分類 広報・情報・会報 親睦・SAA） 家庭集会（18:30～） （元会長・現理事・副幹事 副会計）	10日 ・ガバナー補佐公式訪問 ・卓話（ガバナー補佐） ・クラブ協議会（13:40～14:40） 家庭集会（18:30～） （職業・国際・財団 米山）
15日	・次年度プログラム説明 ・次年度予算説明 ・情報雑誌	20日 ・出席表彰 ・短期交換学生受入報告 ・内部卓話 新入会員（真木正広会員） ・クラブ協議会（18:30～）	17日 特別休会
22日	【夜間例会】18:30～ 会長活動回顧&総括 幹事・SAA 感想	27日 ・中学生弁論大会報告（青少年） ・会計報告（2022～2023年度）	24日 ・会長幹事懇談会（11:30～） ・ガバナー公式訪問 ・卓話（ガバナー） ・記念撮影（13:35～）
29日	特別休会		31日 ・IAC年次大会報告 （インターアクト） ・短期交換学生帰国報告 （国際奉仕）
3日 17-18	・IAC会長幹事会 ・RAC地区大会（松山市）	6～10 6日 9日 29～30 30日 ・短期交換学生受入（国際奉仕） ・中学生弁論大会（青少年） ・4RCゴルフ（新居浜RC） ・IAC年次大会（今治市） ・市民一斉清掃（雨天8/6）	17 18日 ・English Summer School ・あかがね算数・数学コンテスト （青少年）

2022 - 23年度

6月中の出席成績

例会日	区分	会 員 数	出 会 員 数	席 欠 会 員 数	当 出 席 日 率	メーキャップ数	修 出 席 正 率	来 訪 ロータリアン
1日		69	52	17	75.36%	4	94.74%	0
8日		69	50	19	72.46%	9	92.31%	0
15日		68	55	13	80.88%	3	89.06%	0
22日		68	45	23	66.18%	8	90.77%	0
合 計		274	202	72				(カード 0) 2)
平 均		68.5	50.5	18	73.72%		91.72%	累 計 9 (カード 25)

被選理事会報告

幹事 池田 昭大

日 時：令和5年6月1日(木) 12:00～
場 所：リーガロイヤルホテル新居浜
諮問人員：13名

議題および内容

- 1) 次年度委員会編成表(変更)について
- 2) 次年度プログラム・予算について

定例理事会報告

幹事 池田 昭大

日 時：令和5年6月8日(木) 12:00～
場 所：リーガロイヤルホテル新居浜
諮問人員：9名

議題および内容

- 1) 会員の退会について
- 2) 「愛・ウェーブ2023」寄付について
- 3) 2022-23年度の振り返り
- 4) その他

持ち回り理事会報告

幹事 池田 昭大

日 時：令和5年6月22日(木) 18:00～
場 所：リーガロイヤルホテル新居浜
諮問人員：10名

議題および内容

- 1) 会員の出席規定適用免除について
- 2) 会員の入会について

とき 今月のこの瞬間

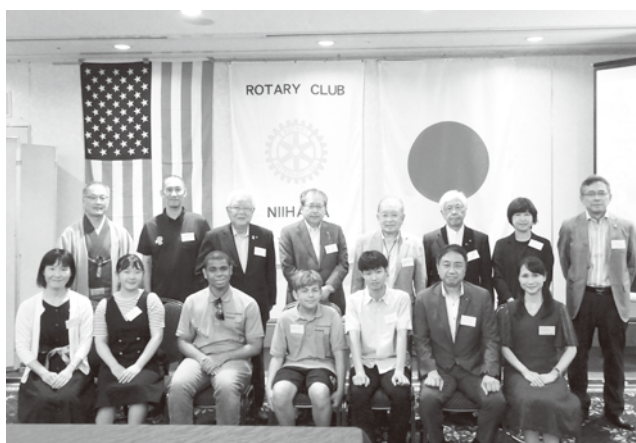


■ 7月6日 ■

中学生弁論大会
(新居浜市市民文化センター)

■ 7月6日 ■

短期交換留学生受け入れ



会長活動回顧

70代会長 小 野 正 師



令和5年の新年を迎え、後半の下期がスタートしました。前年上期は、70周年行事が主体でしたのでメンバー間の親睦よりも記念事業や式典・祝宴等の準備や開催に時間が取られていました。下期になって、吉田親睦委員長には飲み会と楽しい会員間の交わりを増やしてもらうようお願いしました。

例年通りに新居浜市小中学生科学奨励賞（1／8）から始まり、愛媛第1分区IM（2／4しこちゅうホール）、今治RC60周年記念大会（2／5）、夜間親睦家族会（3／9）、親睦家族旅行（4／1・2高知）、南クラブとの合同夜間例会（4／6）、地区大会（5／20高松）、国際ロータリー・メルボルン大会（夫婦で12名参加・特別土産コロナ数名持ち帰り）、新居浜RC100年ビジョンマンダラ発表、と予定行事がこなされました。

特に「クラブ100年ビジョン」については、70周年を無事終え、次の80年・100年に向けて新居浜クラブがもっとこうなるといいなと云うイメージや理想を会員の皆さんからアンケートを取りました。それを、3年間の会長・幹事6名で取りまとめ、「新居浜RC100年ビジョンマンダラ」を仕上げました。6／15の例会で池田幹事が発表した通りです。これからの2年間で、もう少し整理し運営面に落とし込んでくれると有難いです。それと、

重要だと感じたのは委員会事業やクラブ運営面での丁寧な引継ぎです。特に、内規等の随時見直しと事務局の運営管理・労務管理についてです。前年に、急な二人の事務局員が連続して退職し、十分な引継ぎがない中を小笠さんにはかなりの無理な負担を掛けました。いい加減な人任せでは、適切な組織の「恩送り」はかないません。

70周年事務局体制も、アルバイトを雇用しないと無理ではないかとアドバイスを受けたが、小笠さんのサポートを本人の努力に加えて、西岡総務委員長と池田幹事が充分にこなして頂きました。70周年については、改めて松尾実行委員長が「着眼対局・着手小局」的な大きなポイントをまず示し、各委員会が動き出すと細かな注意点をさりげなく指摘下さいました。2人の萩尾・高橋副実行委員長が担当委員会を持ち回り、6人の委員長が完璧に取りまとめ仕上げてくれました。特に、最終の記念誌は6／1例会に、ずしりとした重みと色鮮やかなエンジのカラーの感触に中は見なくとも、間違いない安心感と達成感が再度みなぎりしました。最高のリーダー達と会員の皆さまのご協力で、楽しく充実した一年となりましたことに心からの感謝と御礼を申し上げます。

69年間続いた熱いバトンを、更に磨き上げ無事に次代へ恩送りできました。

新居浜ロータリークラブは、永遠に不滅です。ありがとうございました。

幹事活動回顧

池 田 昭 大



本年度、小野正師会長の下で幹事を務めさせていただきました。小野会長より幹事を務めてほしいとご指名をいただいた時には、私に務まるか不安でしたが、不安より指名いただいたことへの感謝で気持ちよくお返事を申し上げたと記憶しています。

本年度は新居浜ロータリークラブ創立70周年にあたる年でもあり、「ありがとう、70周年！次代へ

恩送りを」の会長方針のもと、先行して70周年実行委員会から携わらせていただきました。前半である昨年は70周年中心であり、個別の役割をあまり気にせず全体を把握できる環境で、会員皆様の能力、行動力や責任感に感銘を受けました。また、他クラブの周年事業にも川之江RCはじめ4クラブに参加する機会をいただき、勉強になりました。

年が明け後半に入ってから、例年通りの例会運営に戻りました。コロナの影響も少なくなり、懇親会を伴う会も開催されるようになり、また皆

様との懇親の場が増え嬉しく思いました。ただ、ほぼ全ての会の進行を務めることとなり、幹事の役割を実感するとともに、親睦委員会さんがご担当の時などはありがたみを実感いたしました。

前半は何とか例会欠席せずに済みましたが、後半は何度か欠席してしまい、副幹事の秋田さんに助けていただき誠にありがとうございました。会員の皆様にもお疲れ様と声をかけていただくこと

が多いのですが、私自身はいろいろ経験させていただき勉強になった一年でした。

幹事として十分に役割を果たせたか自信はありませんが、何とか無事一年を終えることが出来ました。小野会長、役員理事の皆様には心から感謝申し上げます。

皆様、本当に一年間ありがとうございました。

SAAを終えて

2022～2023 SAA 米 谷 方 利



SAAの役目は、会場監督 (Sergeant at Arms) です。サージェントとは、アメリカ及びイギリス陸軍では、軍曹と呼ばれており重責を担う役職です。新居浜クラブでは、歴代会長を終えた次の年の役職になっています。

私は2022年7月1日、SAAに就任しました。6月末にようやく会長を終えてほっとしていましたが、例会での大事な役割についてあまり深く考えていなかったのも、いきなりSAAの大変さに気が付きました。会長時代と変わりなく例会の1時間前には会場に行ってその日の例会行事を確認し、

進行をスムーズにするため、またきっちり13:30に例会を終えるため、当日発表する人と所要時間の打ち合わせや調整をします。毎回時間配分がうまくできなくて、ひやひやですね。ようやく一般席に座ってゆっくり楽しく例会とランチタイムを過ごせるようになりました。

SAAのもう一つの役割はニコニコの管理です。コロナ禍が下火になったおかげで休会の日数もわずかとなり、70周年効果もあって総額は1割以上増えました。

会長エレクト、会長、SAAと3年間にわたってロータリアンとして貴重な体験をすることが出来ましたのは、会員の皆さんのあたたかいご支援のおかげです。大変お世話になりました。

活動回顧

職業奉仕

職業奉仕委員長 小 野 幸 男

本年度職業奉仕委員会は、日野英典副委員長、植村明雄委員、田邊崇委員、小野の4名で活動しました。

上期は、令和4年10月20日、磯村会員の案内で新居浜LNG株式会社様を見学させていただきました。30人余りの会員の皆様に参加していただきました。

下期は、令和5年1月26日に、職業奉仕功労者表彰として、日野功様を表彰させていただきました。

日野様は画家として、新居浜の文化振興に貢献されております。また、新居浜RC会報の表紙絵として掲載させていただいています。

1年間、御協力ありがとうございました。

社会奉仕

社会奉仕委員長 西 岡 圭

今年度社会奉仕委員会は秋田華佳副委員長、清家敏満委員、武田康宏委員の4人でスタートいたしました。7月の市民一斉清掃はコロナの影響で中止となりました。9月には社会奉仕功労者表彰として、絵手紙グループゆめの会代表であります大西悦子様に卓話をさせていただきました。10月の生き生きフェスティバルでの花の種の配布はイベントが中止となりましたが、ロータリー財団の地区補助金を活用して購入した花の種を新居浜市社会福祉協議会に寄付をさせていただきました。本年度はコロナの影響で中止となった事業もありましたが、来年度は通常の事業が行われることと思います。引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

人間尊重

人間尊重副委員長 **松尾嘉禮**

今年度の人間尊重委員会は、磯村委員長、谷委員と私の3人での活動となりましたが、上期は新型コロナウイルス第8波のため、何も活動出来ませんでした。下期の3月23日に外部卓話を企画いたしました。「地球温暖化とCO₂ネット・ゼロに向けた取り組み」の演題で東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社の小林祐司経営企画部長様の卓話を拝聴いたしました。将来CO₂をCとO₂に安価に還元する研究に興味を惹かれました。

3月末で委員長転勤となり、代理を務めました。が、以後の活動はありませんでした。

国際奉仕

国際奉仕委員会 **佐々木世希**

今年度の国際奉仕委員会は、丹副委員長、中山委員、近藤奉文委員の4人で担当しましたが、委員会の最も重要な活動である「短期交換留学生」の受け入れと派遣については、今年度もコロナ感染拡大の影響により中止になりました。

又、キャンプメリーハートの支援についても活動が中止になっています。

したがって、今年度は活動することができませんでした。

R財団

ロータリー財団副委員長 **鈴木誠祐**

今期のロータリー財団委員会は長田伸一郎委員長と私、一宮捷宏委員の3名で活動してまいりました。長田伸一郎委員長が途中で退会されましたが、ほとんどの仕事は終わっていました。特別寄付は高橋栄吉会員にお願いして、快く応じていただきました。紙面をお借りして感謝申し上げます。年次寄付については合計51万円の寄付を行いました。さらに今期は創立70周年記念特別寄付として40万円の寄付を行っております。また、花の種配布についてはロータリー財団の地区補助金で種を購入しましたが、コロナの影響で配布には至らず寄贈いたしました。次年度はコロナも沈静し、無事に配布できるように期待しています。

米山奨学

米山奨学委員長 **高橋英吉**

今年度は近藤基起副委員長、故神野勝太委員の3名で活動致しました。

しかし、神野勝太委員が途中で逝去なされたことは大変残念でした。

新型コロナの影響下、奨学生の受け入れが難しいにも関わらず、無事実施することが出来ました。委員会の活動については、下記のことを行いました。

① 奨学生の卓話訪問受け入れの実施

卓話日：2022年10月20日 例会

名 前：ピエ・ウォン・ティリ（ミャンマー）

愛称：ウォン

大学名：愛媛大学修士課程 土木工学専攻

演 題：今までの日本での生活

随員：カウンセラー

松山ロータリークラブ 芦原伸一会員

② 地区米山委員会の意向に沿った普通寄附金と特別寄附金の実施

・普通寄附金 6,000円（会員から徴収）

・特別寄附金 100,000円（小野正師会長の寄附）

以上、無事行事を終了することが出来ました。
ありがとうございました。

青少年奉仕

青少年奉仕委員長 **小野雄史**

2022～2023年度青少年奉仕委員会は、西本 健副委員長と永田光春、真木正広委員とともに青少年の活動の支援を行ってまいりました。

本年度はコロナ禍の影響も残る中7月8日には中学生弁論大会が行われ、拝聴してまいりました。各校の代表者による素晴らしい弁論大会でしたが、残念ながら予定していた上位3名の弁士の学生さんにはコロナウイルスが拡大期にあり卓話していただけませんでした。

1月7日には小中学生科学奨励賞発表大会が総合科学博物館で開催され予選通過した学生の研究発表を拝聴しました。この時期はコロナ感染も少し下火になり上位入選者3名に例会に来ていただき外部卓話にて発表して頂きました。テーマの選定、研究の進め方、素晴らしい発表にただただ感心致しました。

5月11日には住友金属鉱山の千葉様をお招きしライラセミナー報告をして頂きました。3月18～21日の小豆島での4日間の体験を通じ貴重な経験が出来、良い思い出になったと感想を頂き今年は開催が4年ぶりに実行され2名派遣出来たこと良かったと思います。派遣頂きました住友金属鉱山様、桑原運輸様に感謝申し上げます。

ローターアクト

ローターアクト委員長 **増 田 忍**

2022-2023年度のローターアクト委員会は嶋田祐二副委員長、宮崎善博会員、小野省三会員、山田昌義会員、増田の5人体制でした。

残念ながら今年もコロナ禍ということで、新居浜工業高等専門学校ローターアクト部の活動は学校内の活動に限られてしまいました。

会長の神山拓海さん（3年）、幹事の合田天丸さん（3年）をはじめ総勢23名でした。指導教員は皆本佳計教員と沼田真里教員の2名です。

活動場所が校内のみ、ということなので主な活動は新居浜市ひとり親家庭学習支援事業でした。毎週月曜日の午後5時30分から図書館2Fのグループ学習室で新居浜市内のひとり親の小中学生を対象に自習のお手伝いをするというボランティア活動を実施しました。またこの事業はローターアクト部の例会も兼ねて行いました。11月15日&16日には第57回国領祭が開催されましたが、参加できるのは学校及び学生関係者のみという縮小開催でした。その為学校外でのボランティア活動同様ローターアクト部名物焼き鳥の出店は見送ることになりました。コロナ禍の影響で3年間活動休止となったのですが、来年度から元通りの活動を行えることになってでも学生主体の部活動である為経験者がいない状態です。皆本先生と沼田先生の最大の悩みの種です。また、長年ローターアクト部の顧問を引き受けている皆本先生があと2年で定年退職となる予定です。今後の数年で大きなターニングポイントとなる可能性があります。

来年度からはローターアクト委員会を中心に新居浜ロータリークラブが積極的に新居浜工業高等専門学校ローターアクト部のボランティア活動に参加しサポートしなければなりません。

2024-2025年度の国際ロータリー第2670地区の方針の一つとしてローターアクトクラブ提唱のロータリークラブに地区委員派遣の要請を行うという事が決まっているようです。新居浜ロータリークラブは2670地区の青少年奉仕活動に熱心にならなければなりません。今後ますますのローターアクト委員会の活躍と6月17日&18日に松山市で開催される2022-2023年度国際ロータリー第2670地区ローターアクト地区大会が大成功する事を祈念し活動回顧としたいと思います。

インターアクト

インターアクト委員会 **妹 尾 次 郎**

インターアクト委員会は、井石正哉副委員長、

曽我部委員、徳久委員、妹尾の4名で取り組みました。私の母校でもある新居浜西高インターアクトクラブを盛り上げようと意気込んでいましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で活動も思うように運びませんでした。唯一リアル開催された事業が、4月22日に高松で行われた全国インターアクト研究会でした。都道府県ごとに新型コロナへの対応がバラバラだったので、参加できないクラブや顧問の先生だけの参加も多かったようですが、全国からのメンバーをお接待するために西高インターアクトのメンバー3名と顧問の和田先生が積極的に参加され、盛り上げて頂きました。クラブメンバーにとっても、他クラブとの交流が出来て、良い思い出になったと思います。

次年度の中山委員長さん、引き続きよろしく願いいたします。

クラブ奉仕

クラブ奉仕委員長 **伊 東 省 司**

クラブ奉仕委員会は、会長方針に沿って、各役員、各委員会及び会員との相互連携と親睦を図り、円滑にロータリー活動を推進することにあります。

この一年間、白石副委員長と村上徹委員の三人で取り組んでまいりましたが、小野正師会長のもとで各役員、委員会の皆様方が円滑に行って頂きましたので何の問題もなく、クラブ奉仕委員会として特にやるべきこともなく、誠に申し訳なく思っております。

この一年間で特に思い出に残っていることは、何と言っても「70周年記念式典」であります。各役員、委員会の皆様方が一致団結して連携し、盛大で素晴らしい記念式典を挙行することができましたのは、会員の皆様方のロータリー精神と奉仕の精神の賜物と深く感動いたしました。

あらためて、新居浜ロータリークラブのチームワークの良さと素晴らしさを再確認した次第であります。

プログラム

プログラム委員長 **長 岡 一 路**

本年度は、村上正純副委員長と泰 恭裕会員とともに実施いたしました。コロナも落ち着いたとはいえ、年度当初は休会が続きましたが70周年の記念事業が予定されていたので、例年通りプログラムの運営ができるか心配しておりましたが、お茶の会も上期、下期とそれぞれ開催できました。

また今年度は新入会員が多く、上期は休会のため新入会員の卓話や会員のスピーチが滞っていま

したが、多少の変更はありましたが皆様のご協力により、ほぼ予定通り実施することが出来ました。一年間有り難うございました。

出席

出席委員長 **東 田 桂 典**

本年度は、高橋正明副委員長と越智委員との3名で活動してまいりました。

まだまだコロナ禍ということもあり、メイキャップできる事業も中止される事が多々あり、修正出席率がなかなか上がりにくい状況ではありましたが、9月に一度修正出席率が100%になる事が出来ました。また先週、今週と修正出席率98.25%となっております。

来年度は、是非修正出席率100%が複数回達成される事を期待しております。一年間ご協力ありがとうございました。

会員増強

増強会員委員長 **飯 尾 泰 和**

本年度の会員増強委員会は、小野正師会長の基本方針「ありがとう70周年！次代への恩送り」のもと田尾副委員長・吉村委員・佐々木委員・飯尾の4名で活動を開始しました。

創立70周年に向けて米谷前会長・前会員増強委員会の皆様のご尽力により、襷を引き継いだ時点で70名の目途がたっており、安心して活動？をしていました。しかしながら、コロナとの共存時代となった事から、社会経済活動が日常に戻り委員のメンバーも転勤する等、70名の維持が厳しくなりましたが、小野会長・池田幹事はじめ諸先輩会員のお力添えにより女性会員の倍増、そして70名の会員で襷をお渡しすることができそうであります。

次年度の永田委員長は女性会員15%、更には我が新居浜ロータリークラブが発展する人材を探され、常時会員70名以上をキープすると力強い「方針」を掲げておられます。

ついでには前会員増強委員長として、微力ながらご支援して参る所存であります。

1年間、会員の皆様のご支援・ご協力に感謝申し上げます。

誠にありがとうございました。

分類・選考

分類・選考委員会委員長 **垂 水 辰 仁**

本年度の分類・選考委員会は、松田哲雄・畑田

達志委員と共に参加して参りました。

小野正師会長方針「ありがとう70周年！次代への恩送り（おんくり）」を」

70周年を70人以上の会員で迎える事を目標に掲げどうなるかと心配しておりましたが、上期70周年記念式典を70人以上の会員で迎える事が出来、皆様に感謝と御礼の気持ちでいっぱいです。

下期も順風満帆、女性会員増強に当たり職業分類を増やした事が印象に残っております。

今年一年、本当に有難うございました。

広報（IT）

広報（IT）委員長 **近 藤 利 彦**

今年度の広報（IT）委員会は、矢田義久副委員長、井石安比古会員、近藤の3名で進めて参りました。

主な活動としては、今年度新居浜ロータリークラブの最大行事でありました、創立70周年記念式典のPRを一昨年リニューアルされたホームページを通じて行いました。

その他、中学生弁論大会、新居浜市小中学生科学奨励賞発表会、RYLAセミナーへの取材等の計画はありましたが、スケジュール等が合わず実現出来ませんでした。

来年は今のところ愛媛新聞社の神田会員が委員長の予定ですので、青少年奉仕委員会とうまく連携して、取材等を通じて是非とも新居浜ロータリークラブの活動を今以上に広く知って頂きたいと思っています。

一年間、会員の皆様と事務局様のご協力を頂き誠にありがとうございました。

R情報・雑誌

R情報・雑誌委員長 **桑 原 征 一**

令和4～5年度の情報・雑誌委員会の活動に対しまして、ご協力頂きました皆様方に厚くお礼申し上げます。

本年は、大場浩正会員、青野 正会員と私の3名で活動させて頂きました。

例会のスムーズな進行の中で、適宜ロータリーの情報をお伝えするという事につきましては、おおむね順調に推移したと思いますが、雑誌の広報・周知という面では、不足気味であったと反省しております。

また、新入会員とのつどいも、下半期のみの開催となりましたが、多数の会員のご参加を頂き、盛大に開催できました事を喜んでおります。

一年間ご協力いただき、ありがとうございました。改めて、お礼申し上げます。

会 報

会報委員長 神 田 未知生

2022-23年度の会報委員会は安藤副委員長、田川委員、渡邊委員と神田で担当しました。井上前委員長が22年7月に異動となり、8月より急きょ委員長を務めさせていただきました。前委員長の「親しみの深まる会報」づくりを基本的に引き継ぐとともに、ビジュアルとニュース性を重視しました。

具体的には、10月号から編集後記に、アイキャッチとなるよう写真を掲載しました。会報の顔である表紙についても、70周年記念事業や春の遠足など大きな行事があった際は、日野 功様の絵画をお休みさせていただき、写真を大きく載せて記録とするなど柔軟に対応してきました。また、2月号からは「私の宝物」を随時掲載しています。会員が大切にしている物を通じて、その方の横顔を知るきっかけになればと思っています。この企画は新年度も引き継いでいただけることになっており、会員間のさらなるコミュニケーションの深まりを期待しております。

委員長としての反省点は、委員全員参加による会報づくりができなかった点です。毎号ついつい1人でやってしまい、会報づくりのノウハウの共有ができませんでした。会員の皆様には、原稿依頼の際にいつも快く引き受けてくださり、とても感謝しております。また東田会員には、例会のたびに原稿や写真の要・不要の判断についてアドバイスをいただきました。お力添えをありがとうございました。会報は皆様のご協力があって発行できていると実感した1年でした。

親 睦 活 動

親睦活動委員長 吉 田 達 哉

本年度親睦活動委員会は、副委員長に三谷会員、そして、田坂会員に協力を固めていただきながら、小野正師会長の「ありがとう70周年！次代へ恩送り（おんくり）を」の方針に基づき委員会の皆様と共にメンバーの親睦と友情と絆を深める活動を行いました。

上期はコロナ第8波の影響で休会となった日もありましたが、主に70周年の準備のお手伝いを行い、親睦活動委員会の事業は下期に集中させました。

特に4年ぶりの開催となった親睦家族会、マルブン新居浜店を貸し切った家庭集会、そして、春の遠足は印象深いものになりました。

また、恒例行事であります、誕生祝・結婚記念祝い・年寿祝いに関しましては事務局の抜かりない手配により無事執り行うことができました。

受付では人数が多く威圧感がすごい日もありましたが、総じて釋をかけ明るく元気に会員の皆様をお迎えできたのではと思います。

事あるごとに委員会を開催したので、かなりハードな一年間でしたが、会員の皆様の多大なるご協力のおかげで全ての事業をやり切ることができました。ありがとうございました。

新居浜RC100年ビジョンの発表

池 田 昭 大



3月16日の例会時に皆様にご案内してご協力いただきました、100年ビジョンアンケートの取りまとめを6月15日の例会にて発表いたしました。いただいたご意見は149件に上りました。ご協力ありがとうございました。皆様から頂いた意見をもとに、4月3日の例会後、小野会長、明星次年度会長、高橋

次年度会長エレクトと、西岡さん、吉田さん、私の6名で配布いたしました新居浜RC100年ビジョンマンドラ作成の為にグループ分けを行いました。

皆様から頂いたご意見は、大きく8つのグループに分類しました。①ビジョン、②会員増強、③女性会員、④例会、⑤、会員・企業交流、⑥規約他、⑦広報・地域貢献、⑧クラブ・委員会の8グループです。

①ビジョンについては具体的なご意見は少な

かったと思いますが、若い会長やSDGsなど伝統を守りながらも継続できる工夫をするべきという意見が多くありました。②会員増強については多くのご意見をいただきました。ほぼ9割の方のご意見が、適正な会員数は60名から80名の範囲でした。会員増だけでなく、若い方やロータリー歴の浅い方が早く活躍できるように、理事会等へのオブザーバー参加というご意見も頂きました。③女性会員については、程度の差はあれ、増やしたいというご意見がほとんどでした。④例会については、いろんなご意見をいただきました。食事や席について、卓話やニコニコについてなど、皆さん意見が出しやすい分類だったのかもしれませんが。いただいた中で、現状の緊張感の維持というご意見には深く同意いたします。⑤交流ではコロナもあったからなのか、懇親会の継続や充実というご意見をいただきました。⑥規約では、以前も出た転勤者の入会金についてのご意見や、役員による規約の確認やしっかりした引継ぎといったご意見がありました。⑦広報・地域貢献については、子供や地域貢献、ニコニコ予算を使うなど、皆さんから前向きなご意見をいただきました。太鼓祭りを人のケンカの無いお祭りにとという貴重なご意見もいただきました。⑧クラブ・委員会については委員会の統廃合や未所属委員会への理解の問題や、事務局で小会議ができるほどのスペースが欲しいといったご意見もいただき

ました。いただいたご意見の中には会員名簿の作成といったすでに実現されるものもあり、貴重なご意見だと感じました。

今回の100年ビジョンでは、予算的に実現が難しいものや、すぐには出来ないものもたくさんありました。小野会長の方針の中にある恩送りという思いも汲んでいただき、次年度以降少しずつでもブラッシュアップしたり、中期・長期の計画を作成していただいたりしながら、継続していただければありがたいです。

皆さんに多くのご意見をいただきながら、中には取り上げられなかったものもあります。貴重なご意見をいただきながら、すべてを反映できず申し訳ございません。ご協力、本当にありがとうございました。

新居浜ロータリークラブ100年ビジョンマंडラ

3～5年の 中期目標の設定	新居浜の人口増 や地元愛増大への 貢献	SDGsへの 取り組み	外国人経営者が いれば勧誘する	理事会等へのオ ブザーバー参加 促進	若い人の入会	男性よりも女性 の方が優秀かも	女性会員増	入会レベルの 維持
若い会長の輩出	ビジョン	クラブの伝統を 守る	入会レベルの 維持	会員増強	親子会員	女性会員が増え ると男性会員の 質も上がる	女性会員	女性比率 10～20%
クラブリーダー シッププランの 立案	次世代につな がる取組み	小さなことでも いいので継続的 な取組みを	地元会員の拡大	紹介条件の マニュアル作成	会員数60～80 (約90%意見)		100周年では 女性比率を20% 以上に	女性会員数 2ケタ
事務局スペース の拡大	ロータリーソ ングを今風に	委員会の統廃 合や未所属委員 会との交流	ビジョン ③	会員増強 ④	女性会員 ⑤	卓話・スピー チ後の講評を行 う	食事の量・質に 工夫	いつも同じ人 と座るのではなく 委員会席を導入
会員名簿作成	クラブ 委員会	未所属委員会へ の理解度を 上げる	クラブ 委員会 ⑦	新居浜RC 100年ビジョン	例会 ⑧	ロータリーの 基本を学ぶ場を 増やす	例会	会員スピーチを 20分間に
出席率UPへの 方策	クラブ活動の 創設 (趣味的な)	オンライン例会	広報 地域貢献 ⑥	規約他 ①	会員交流 企業交流 ⑦	奉仕活動に 少しウェイトを 置く	ニコニコの コメントを本人 が説明	現状の緊張感の 維持
太鼓祭りの人 間同士のケン カを無くす運 動	太鼓祭りPR	子供への貢献	収入会制度の 導入	例会回数 の見直し	メンバー シップ対 象をはっきり させて拡充	会員企業同 士がお互い をもっと 知る機会を	県外・近隣 との親密な関 係づくり	次世代経営者 との交流会
教育委員会を 通じて青少年 育成支援を	広報 地域貢献	ニコニコ予算 で地域貢献	他クラブとの 連携	規約他	転勤者の入会 金見直し	委員会の懇 親会等での活 性化	会員交流 企業交流	奉仕と親睦 の更なる充 実
	認知度UP	講演会 音楽会	内規を少なく し新役員、理 事間で確認	事務局員の 労働条件等 を適時見 直し	年度が変わ るごとに引 継ぎをきち ん行う	各種懇親会 の継続	委員会内の 親睦をもっ と図る	

※総意見数149 2023.4.3 小野（正）、明星、高橋（英）、西岡、吉田、池田 作成

自己紹介と昭和のお話

宮崎善博



私がロータリーの現在メンバーの平均年齢とほぼ同じなので、自己紹介と昭和時代のお話につなげて、皆さんはあの頃自分はどんなだったと回想していただければと思います。主に昭和の話ですが、退屈を承知の上お話しさせていただきます。

昭和31年生まれです。「もはや戦後ではない」の名言が盛り込まれた経済白書が世に出た年です。

①小中学生時代

昭和38年～昭和47年（高度成長期の真っ只中）
新居浜小学校に通いました。小学校入学時はク

ラスの児童全員が白いカッターシャツを着ていたわけではなく、学年を追うごとにその普及率は上がってきました。小学校6年の最初、クラスの最後の1名が白いワイシャツを着て登校したとき、担任がその同級生に「もう1枚買ってもらったら毎日ワイシャツになるね」と言ったところ、翌日の始業の時にその子の母親がすごい剣幕で教室に怒鳴り込んできて、担任はクラス全員の前で最敬礼してお詫びすることがありました。

小学校時代の愛読書は全10巻の「太平洋戦史」、中学校時代はヘミングウェイでした。遊び場は友達と戦争ごっこをした磯浦や金子山でした。時に映画館でわけもわからず映画を見たり、休憩時間に洋楽を聞いたりしていました。いまだに覚えているのはシ

ルビー・バルタンの「アイドルを探せ」です。

②高校生時代 昭和47年～昭和49年

なんてことない高校1年生が何を思ったか、大して上手でもないのに野球部に入り、部活後毎日バタタンキューの生活でした。勉強もしないでいると、もともと中学校時代から英語という科目も、担当する先生も嫌いだったせいもあり、1年生1学期の中間試験でグラマー（文法）もリーダーも赤点すれすれの31点と33点という惨憺たる成績でした。採点結果が判明して担任の先生と個別面談したとき、先生から「宮崎は大学受験をどうするのだ？この英語の成績では相当厳しいが」と聞かされ、「はい、私は建築科に進みたいので英語は関係ないと思ってました。そういう問題ではないのですか？」と返答したところ、先生は「そうだよ。どこの大学・学部でも受験科目にあるし、英語はウエイトが高い」と。この後、英語劣等生は期末試験まで毎日必ず予習し、高校前の教科書を販売している本屋に行き、グラマーもリーダーも教科書を更に1冊買い求め、自宅置きの教科書はハترون紙に赤字・青字で読みや意味をぎっちり書き込み何度も目を通し、学校置きの教科書は一切記入しないで記憶を定着させることに利用しました。その結果約2カ月後の期末試験では93点と96点を取りました。その直後のグラマーの先生から授業開始と同時に、「今回期末試験で中間試験より3倍の点数を取った人がいる。宮崎君はどの人かな？」と言われて起立したところ、暫くたってから教室内でクスクスと笑い声が上がりました。その授業が終わって、その先生から昼休みに職員室へ来るように言われ、「カンニングしてないのは間違いないと思うが、君はどんな勉強方法でやってるのか」と聞かれ説明しました。「わかった、それでいいと思う」と言われ、自信をもってその勉強方法を高校3年間継続しました。やがて英語が得意科目になっていました。またこの英語の先生には興味を持ってもらい卒業するまで、各種試験の後、廊下ですれ違った際も今回は出来が悪かった・出来が良かったとコメントを頂き、励みとなりました。

私自身としてはこれがきっかけとなり勉強することの楽しさや、何かに集中した後の爽快感を体験しました。そして、国語の授業で知った「男子3日会わずんば、刮目して観るべし」が好きな言葉でした。

高校2年生になって4月に放課後の部活で野球の練習をしていましたら、グラウンドから北中学校との間の道路に向かってブロック塀が幅約4～5m倒れたところで、中学の同級生で新居浜商業野球部のメンバー（私としては野球エリートと思っ

てました）が数人、自転車で下校の際、西高野球部の練習を見ていたようです。ちょうど外野の守備練習をしていて、取れなかった打球を拾いに行ったところ、彼らから声をかけられました。「宮崎よ、お前勉強しにここに来とんじやないんか？」。この時、返事をする事ができませんでした。

高校時代の自慢話としては柔道のクラスマッチかなんかで軽量級で優勝しましたが、さすがに柔道部の重量級には負けました。重心が低いということがこれほど有効なことかと妙に自分を納得させていました。あと美術・音楽・書道では美術を選択しましたが、この画像の油絵を模写したところ、意外にうまく描けまして、先生が生徒作品の数点を校舎の階段踊り場に展示してくれた中の一つとなりました。それを見たクラスの女子が200円で買ってくれました。その時「ひょっとして俺は絵の才能があるかも」と一瞬思い、大学に入ったら油絵をやってみるかとも思いました。

やがて卒業・受験時期となったとき、高度成長期の終焉が近付いていたようです。

③浪人・大学生時代 昭和49年～昭和54年

大学受験では本来の甘ちゃん性分から詰め甘く失敗しました。今度は絶対に失敗しないから浪人させてくれと親に懇願し、上京しました。この時親父は生涯最大の事業（スーパー・ニチイの誘致）を始めていて、息子の進学などで煩わしい思いをしたくなかったのではと想像しています。失敗を経験し、晴れて東京で浪人生活をはじめましたが、毎日見るもの全てが目新しく驚きの連続でした。その社会の大きさと、効率化された交通網に圧倒されました。

受験の目標は達成して新居浜に帰省した時に登道のバス停に降り立って自宅に帰ろうとしたところ、アーケードの入り口に横断幕が掲げられており「建てる宮崎、大反対！」と書いてあったと思います。家に着き聞いたところ、その宮崎は親父とのことで驚きました。建築は爺さん、親父は映画館とゴルフ練習場（当時は親父の道楽と思ってました）を生業にしている程度のぼんやりした認識の跡継ぎでした。

入学後、念願の油絵を描きに哲学堂公園（東京都中野区）に行って数回描いたものの、デッサンの基本を知らず、諦めかけて散策していると隣に野球場があり、自分の大学の野球部と同じユニフォームで練習しているのを見て、やっぱりこっちと思い、即日軟式野球の同好会に入部しました。この同好会の遠征（主に九十九里浜）の飲み会で各自小学校の校歌を歌い発表したのですが、「工場のサイレン鳴り響き日ごと栄える新居浜の…」と歌ったと

ころ、宿泊先の広間は大笑となり、「お前の小学校は工場の敷地内にあるのか」とキャプテンに言われました。私は胸を張って「新産業都市計画で日本経済の発展に寄与している地域です」と答えたところ、皆「へえー」という顔をしていました。

また、学生時代の別の友人で小田急線の一つの終点、江の島の砂浜から、ちんたら歩いて20分ほどの小高い山を開発造成した住宅街に住んでいる人がいました。その友人宅は郊外の賃貸とはいえ、100坪ほどの敷地に7.5畳間のプレハブを置いていて、その部屋は夏になると毎日友達5～6人のたまり場となっていて、夜は酒盛り、昼は海水浴という状況でした。夕方、海水浴からの帰り道、邸宅街を通りいろんな家を拝見しました。昭和50年では珍しい、庭先でバーベキューを楽しんでいる家などあり、多分数年前までは、ただの野っ原だったに違いないところがデベロッパーの手により豊かさを演出できる地域に変わるというのを見て、就職するなら商社・不動産会社がいいと思っていました。

面接に向かった大手不動産会社はそのころ本業のビル賃貸や分譲地・マンション開発以外にディズニールランド誘致を企画していて、給料も格段に良いので第1志望として毎日通ったのですが、最終面接で落ちまして、その後ある専門商社に採用されました。これで社会に踏み出せることとなりました。

為替のドル・円レートが290～300円時代でしたが、学生時代の最後は200円を超える円高となっていることで、卒業を間近にして友達と酒飲みながら、それまで海外旅行に無縁な学生でも割安で行けるとの話題で盛り上がり、土方・建設資材の運搬等、ペイのいいアルバイトをして旅費をこしらえて、サーフィンスクールに行く目的で自動車国際免許を取り、ハワイに向かいました。ガソリンスタンドはどこもセルフで、やはりコスト感覚の日本との違いを感じました。

④社会人時代

入社したのは東証二部から一部に鞍替えしたばかりの社員平均年齢29歳ぐらいの伸び盛りの会社でした。このころは早くビジネスマンとして力をつけたいとの一心でした。入社の面接の際も「うちの会社は仕事厳しいよ」と言われましたが、「4年間英気を養ってますから大丈夫です。ただ、厚かましいですが財務か不動産の仕事につきたいです」と述べたところ、住宅事業部に配属されマンションの販売に従事することとなりました。

2年目には独身寮がぼろくてこの点は不満でして、労働組合の事業部代表の組合執行委員となり

春闘ではこぶしを挙げていました。

3年目はトップセールスマンを目標として頑張りました。新入社員2名を引き連れ、個人成績の約11億を達成しました。マンションセールスは建築知識が比較的なくてもいいという側面がありました。それで入社3年目が終わろうかというところで、部長面接があり「君は野心家だから違う分野の仕事したいのでは」と聞かれ、これを渡りに船とばかり「売り」がある程度解かれれば、「買い」を知りたいのは当然なので開発業務をしたいと申し入れ、翌春より開発部勤務となりました。学生時代の一つの夢が実現しました。

この分野の初仕事にこぎ着けたのは配転後1年2カ月たってでした。分譲マンション開発プロジェクトは土地購入から建設に至るまで、いろいろな側面からコストを精査したうえで事業化に向かう必要性があります。この初仕事では土地Aをゼネコンに暫定的に保有してもらう必要性があり、土地買い付け証明書→地上げ屋さんとの覚書→ゼネコンとの覚書、工事請負契約の詰め等、契約に先立ち話を固めるうえで協議に数カ月を要しました。社内の設計室やゼネコンの営業マンとチームを組み、電波障害や日陰になることへの説得等近隣対策には細心の注意をもってあたりました。

その終盤、細部をさらに詰めようと地上げさんの事務所を訪ねて控室で待っていました。そこはゴルフ会員権販売がメインの会社で、社長は声が大きく、デベロッパーとの取引経験がない人でした。社長はちょうど電話でもう一つ先の地上げ屋さんとの協議中で、土地Bの登記簿地番を読み上げていました。私は日常業務の中でこの一帯の登記簿が頭に入っているのも、即座に状況が分かりました。

住居主体の分譲マンションの予定物件と隣接する南側に、新たな分譲物件を他社に取得されると大きいダメージを受けるのは必至とわかり、大いに狼狽しました。その日の打ち合わせはそこそこにとどめ、即座に本社に戻り事態の打開策を取締役事業部長（約35年弁護士専業後、役員）と協議して、土地Aの土地は代金全額（記憶は正確でないが4億7千万円）を決済する日に、土地Bの件を逆手に取って土壇場で4千万円値引きの交渉をし、代金全額一発決済と所有権移転を同時にするという特殊な取引形態をとりました。かなりイレギュラーな初陣でした。

このころ先輩から引き継いだマンションプロジェクト1件に着手。それと浅草のスカイツリーから約1キロ、地下鉄本所吾妻橋駅から徒歩1分の所にある、7人の地主の土地の提供を受けてのマンション建設では、工事費全額をデベロッパー

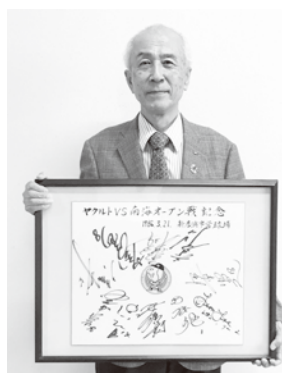
が出資して、土地代評価額と建設費の割合で地主の賃貸部とデベロッパーの分譲部に区分する方式「等価交換方式」を採用しました。設計事務所・ゼネコンに予算だけ厳守として細かな対応を委任し、これも着工できました。これらを含め4物件を立ち上げることができ、昭和58年には売り上げベースでの40億円のノルマをなんとかクリアしました。社内外のいろんな人の知恵と経験と手助けを引き出せての荒っぽい開発マンライフでした。

その翌年父より電話があり、いい加減新居浜に帰って来いと言われ、建築確認を下付され着工時の電波障害・近隣対策処理を完了させ、販売チームにバトンタッチして、昭和59年末に無事退職できました。



ヤクルト選手のサイン色紙 オープン戦 新居浜開催に奔走

嶋田 祐二



37年も前のことになりますが、新居浜にプロ野球のヤクルトスワローズと南海ホークス（今のソフトバンク）を招聘（招致）して、オープン戦を開催した時のサイン色紙が私のお宝です。新居浜にプロ野球球団

が来てオープン戦をすることは、今後も難しいことと思ひ、お宝と思っています。

私が商工会議所の議員だった1984年に、青年部会を設立して初代会長を拝命したとき、当時の三好会頭から「青年部で新居浜の活性化になるような事業をしてくれ」と言われ、取り組んだ事業の一つがオープン戦誘致でした。たまたま新居浜市営球場が1985年夏に改装（新装）オープンしたことなどから、ヤクルト本社と球団に働きかけました。

ヤクルトでは、シーズンオフに各地区の販売会社持ち回りで野球教室を開催していて、コーチや選手2～3人を派遣してくれる活動はありましたが、できれば新居浜で自主トレやキャンプ、オープン戦の開催をしてもらいたいと思ひ、招致の案を投げかけてみました。それで当時ヤクルト球団の土橋監督が野球教室で愛媛に来た際、新居浜市営球場を視察してくれました。結果は「球場が狭い、

今でもたまたま上京の折りには自分が手掛けた分譲マンションを見に行き、タイルがはがれることなく無事建っている姿を見て、昔の自分に励まされる心境になります。

昭和59年12月31日に新居浜に到着して駅で手持ちを見たところ6千円ほどでした。

（ここで時間到来のアナウンスあり）

お時間も差し迫っているようです。皆さん、このような私ですが様々なアドバイスを今後ともよろしくお願い致します。

サブ球場がない、室内練習場がある」などキャンプには難しい環境が山積でした。オープン戦だけでも何とか誘致を要請したく、外野ネットなどの改造を条件に話を進め、ヤクルトVS南海を招聘しました。ヤクルト球団の幹部社員にも何度か来てもらって受け入れたため、準備から大変でした。

難題は1チーム70人以上、監督以下コーチ、選



ヤクルトの土橋監督が新居浜市営球場を視察したことを伝える愛媛新聞記事（1985年11月3日付）

手、スタッフの宿舎手配でした。南海は当時、新居浜駅前にあったビジネスホテルの「マルニ」を宿舎にして、ヤクルトは今の新居浜市立図書館の場所にあった、住友の格調高い宿泊施設「泉寿亭」を借りました。木造和室で畳に布団ということで、選手の不評を買いましたが、球団から「チームの分散宿泊はできない」と言われた末の苦肉の策でした。ヤクルトチームには若松、八重樫、広沢、角の各氏らとともに、WBCで優勝した日本代表監督の栗山英樹氏、高校野球でアイドルのはしりとなった荒木大輔氏等がいました（栗山氏がいたことは、試合結果を伝える当時の愛媛新聞を最近見て名前を見つけました）。

南海の監督は、現役時代に捕手の野村克也氏とバッテリーを組んで、野村氏が史上最強ピッチャーと断言した杉浦忠氏でした。

当日は新居浜市営球場に8千人の野球ファンが集まり、ヤクルトの八重樫捕手がメモリアルアーチを放ったことも喜びでした。

私たちはヤクルトスワローズ一行を泉寿亭での会食でもてなしました。小さな大打者、若松氏がご飯を何度もおかわりしていて、現役19年間の通算打率3割1分9厘（プロ野球歴代2位）の名選手のパワーを見せつけていました！若松氏は後にヤクルト球団の監督をしてリーグ優勝も果たしました。私は裏方でしたので選手とゆっくり話はできなかったのですが、記念に監督以下メイン選手のサイン色紙をもらったこと、そしてオープン戦開催に奔走した思い出も私の青春のお宝となっています。



12時の位置から時計回りに渋谷敬一39、
荒木大輔11、伊東昭光18、レオン・リー2、
若松 勉1、土橋正幸、宮本賢治14、
八重樫幸雄28、角 富士夫5、広沢克己8

例会記録

R 5. 6. 1 (第3424回)

開 会	小野 正師会長	幹事報告	池田幹事
来客紹介	吉田親睦委員長	各委員会の連絡事項	
ゲスト RI第2670地区愛媛第I分区		ニコニコ報告	前副SAA
ガバナー補佐	佐々木敬史様	ガバナー補佐交代挨拶	
次年度ガバナー補佐	久米 操様		佐々木敬史様・久米 操様
来訪ロータリアン なし		委員会活動回顧〔I〕	各委員長
誕生祝 (6月)		(職業・社会・人尊・国際・財団・米山・青少年・RA・IA・会報)	
東田 桂典君 (18日)		閉 会	小野 正師会長
出席報告	東田出席委員長		
被選理事会報告	明星会長エレクト		

R 5. 6. 8 (第3425回)

開 会	小野 正師会長	幹事報告	池田幹事
来客紹介	田坂親睦委員	各委員会の連絡事項	
ゲスト なし		ニコニコ報告	副SAA
来訪ロータリアン なし		会員退会 送別の辞	小野 正師会長
結婚記念祝 (6月)		退会挨拶	大場 浩正会員
神田未知生君 (8日) 秦 恭裕君 (9日)		世界大会報告	世界大会参加者
小野 正師君 (10日) 鈴木 誠祐君 (30日)		委員会活動回顧〔II〕	各委員長
出席報告	東田出席委員長	(クラブ奉仕・プログラム・出席・増強・分類・広報・情報・親睦)	
定例理事会報告	小野 正師会長	閉 会	小野 正師会長

R 5. 6.15 (第3426回)

開 会	小野 正師会長	「新居浜RC100年ビジョン」発表	池田幹事
来客紹介	田邊親睦委員	幹事活動回顧 (感想)	池田幹事
ゲスト なし		次年度プログラム説明	
来訪ロータリアン なし		近藤 (利) 次年度プログラム委員長	
出席報告	東田出席委員長	次年度予算説明	飯尾次年度会計
幹事報告	池田幹事	情報雑誌	桑原情報雑誌委員長
各委員会の連絡事項		閉 会	小野 正師会長
ニコニコ報告	副SAA		

R 5. 6.22 (第3427回)

開 会	小野 正師会長	会長活動回顧&総括	小野 正師会長
来客紹介	黒田親睦委員	SAA感想	米谷SAA
ゲスト なし		例会閉会	小野 正師会長
来訪ロータリアン なし		槌の伝達 (明星 元新会長へ)	小野 正師会長
出席報告	東田出席委員長	中山 恵二会員 叙勲受章記念祝賀会	
持ち回り理事会報告	小野 正師会長		黒田親睦委員
幹事報告	秋田副幹事	閉 会	
各委員会の連絡事項			
ニコニコ報告	副SAA (代)		

■ 6月1日

- 佐々木敬史** 一年間のご協力に感謝！感謝！久米 操
愛媛1分区分
ガバナー補佐 次期ガバナー補佐にも、引き続きご支援
とご協力を宜しくお願い致します。
- 小野 正師** 佐々木ガバナー補佐と次期久米ガバナー
補佐をお迎えしてビフォー&アフター、
そして梅雨の合間のさわやかな空気が流
れております。
- 桑原 征一** 新旧のガバナー補佐の来訪を歓迎いたし
ます。佐々木ガバナー補佐、一年間ご苦
労様でした。久米次期ガバナー補佐、こ
れからよろしく願いいたします。
- 伊東 省司** 皆様のご協力のお陰で70周年記念誌を発
行することができました。訂正事項はな
いと思いますが、もしありましたら目を
つぶして下さい。
- 一宮 捷宏** 立派な70周年記念誌ありがとうございます。
永久に残る様、大切に利用・保存します。
- 鈴木 誠祐** 長田財団委員長の代理で委員会活動回顧
をさせていただきます。
- 小野 幸男** 職業奉仕委員会、無事終了しました。一
年間、御協力ありがとうございました。

- 西岡 圭** 社会奉仕委員長の西岡です。コロナで中
止になった事業もありましたが無事に活
動を終える事ができました。また70周年
では総務委員長を務めさせていただき充
実した一年となりました。次年度も更に
忙しくなりそうですが、がんばります。
- 佐々木世希** 国際奉仕委員会、一年間何も出来ません
でしたが、お世話になりました。
- 小野 雄史** 青少年奉仕の活動を報告させていただきます。
- 妹尾 次郎** インターアクト委員会、一年間お世話に
なり、ありがとうございました。
- 増田 忍** ローターアクト委員会、コロナの影響で
学校内の活動のみで終了しました。一年
間ありがとうございました。
- 高橋 正明** 5月7日で73になりました。遅ればせな
がらですが。
- 東田 桂典** 誕生日お祝いありがとうございます。先
月から介護保険料の口座振替依頼や肺炎
球菌ワクチンの案内、年金関係書類等い
ろいろいただきまして、無事高齢者にな
りましたが、ゴルフのティー台は前進す
る事が出来ます。
- 近藤 利彦** (その他)

■ 6月8日

- 井石安比古** メルボルンの世界大会に無事行ってまい
りました。同行のみなさまありがとうございました。
- 曾我部謙一** 世界大会無事帰って来ました。楽しみ過
ぎてコロナまで持って帰りました。
- 米谷 方利** メルボルン世界大会、タスマニア観光か
ら無事に帰って来ました。
- 高橋 英吉** 国際ロータリーの総会に出席しました。
はじめてのオーストラリア楽しくすごす
ことができました。
- 松尾 嘉禮** メルボルンRC世界大会に参加し、無事に
帰り着きました。同行の皆様には御世話
になりました。感謝。
- 小野 正師** 大場浩正会員、退会残念ではありますが
より大きく羽ばたいて下さい。今夜の送
別会を楽しみにしております。
- 大場 浩正** 明日で退会します。転勤族の定めで致し
方ありませんが、皆様とのお別れは残念
でなりません。別子の一つの勝手な解釈
として「子をわかつ」があります。この地
から多くの企業や人材が輩出されること
を心から願っています。

米谷 方利 新居浜法人会会長に再任されました。頑張ります。50周年ありがとうございました。

妹尾 次郎 6／6 愛媛県法人会連合会総会にて、全法連より役員功労賞をいただきました。ありがとうございました。

伊東 省司 クラブ奉仕委員会の活動回顧をさせていただきます。何も活動してなくて申し訳ありませんでした。

長岡 一路 プログラム委員会です。一年間御協力ありがとうございました。

東田 桂典 出席委員会、活動回顧をさせていただきます。一年間ありがとうございました。

飯尾 泰和 活動回顧をさせていただきます。一年間ご支援・ご協力ありがとうございました。

垂水 辰仁 分類選考委員長を今年一年務めさせて頂き、有難うございました。

小野 正師 一緒に住むことを許されて40数年！今日からも宜しく願います。(結婚記念)

鈴木 誠祐 結婚記念祝ありがとうございます。夫婦二人と猫一匹で新婚時代に戻った感じです。

井石安比古 (その他)

■ 6月15日

小野 正師 皆様のお陰で、新居浜RC100年ビジョンマンダラチャートが完成しました。ありがとうございました。

池田 昭大 本日、新居浜RC100周年ビジョンマンダラの発表をいたします。皆様からいただいた意見の集約となりますが会長の恩送りの思いも込められていると思いますので、次年以降も継続していただければと思います。

日野 英典 本年度の職業奉仕委員会と次年度の社会奉仕委員会の懇親会を行いました。7月30日の市民一斉清掃への参加よろしくお願います。

池田 昭大 本日、幹事活動回顧をさせていただきます。一年間皆様のご協力ありがとうございました。幹事として、来週の最終例会に参加できず申し訳ございません。

飯尾 泰和 次年度の予算説明いたします。予算作成において、各委員長さん小笠さんご協力ありがとうございました。

青野 正 本年もユネスコ寄席のチケットありがとうございます。

吉田 達哉 ユネスコ寄席のチケット購入ありがとうございました。笑いあり涙ありの2時間です。今回の会場はウイメンズプラザです。お間違いなく。

池田 昭大 6／9に当クラブ会員でもある田川支店長の三井住友建設四国支店の協力会である四国真栄会の会長を務める事となりました。非常に重責で力不足を感じますが、一生懸命つとめてまいりたいと思います。

井石安比古 (その他)

曾我部謙一 (その他)

■ 6月22日

小野 正師 皆様に支えて頂き、一年間会長として力不足ではありましたが何とか全うできました。心より感謝、御礼申し上げます。

萩尾 孝一 副会長を無事全うできました。一年間ありがとうございました。会長ご苦勞様でした。

池田 昭大 幹事として最終例会に参加できず申し訳ありません。業界の会合と年末に亡くなった父の合同供養祭に出席してまいります。一年間本当にありがとうございました。

米谷 方利 会員の皆さんお世話になりました。ようやくSAAを卒業できそうです。ありがとうございました。

高橋 英吉 会長一年間ご苦勞でした。

青野 正 小野正師会長お疲れ様でした。明星会長頑張ってください。

吉田 達哉 一年間ありがとうございました。何とか親睦委員長をやり切ることが出来ました。これもひとえに親睦委員会の皆様のご協力の賜物です。ありがとうございます。

一宮 捷宏 6 / 18新居浜CCで40・38=78のエージシュートをやりましたがHC 7と厳しくNET71で10位でした。6 / 3のプライベートコンペでも39・38=77と今月2回共、エージシュートで4回目です。健康に気をつけ過ごします。

中山 恵二 最終日の例会で、叙勲のお祝会を催していただきありがとうございます。

高橋 正明 中山恵二会員、叙勲受章おめでとうございます。

井石安比古 中山先生、この度の叙勲おめでとうございます。10年間の努力の賜物ですね！

米谷 方利 中山先生、この度の叙勲おめでとうございます。今後も体に気をつけて活躍して下さい。

永田 光春 中山恵二先生、この度は叙勲受章おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

谷 學 中山先生、面白い話ありがとうございました。改めて叙勲おめでとうございます。

田口 崇 (その他)

2022 - 23 年度

ニコニコ寄付金

6月 合計 55件 172,000円

累計 497件 1,811,000円

2022－23年度の入退会者

月/日	入 会	退 会	事 業 所 名	紹 介 者
7/14	小野 省三		小野省三・小野周平土地家屋調査士事務所	神野 勝太
7/14	田邊 崇		三井住友海上火災保険(株)四国西支店新居浜支社	大場 浩正
7/21	山田 昌義		河之北開発(株)	大場 浩正
7/31		井上 和弘	(株)愛媛銀行新居浜支店	桑原 征一
9/29	渡邊 義人		(株)愛媛銀行新居浜支店	桑原 征一
10/13		田尾 章典	(株)百十四銀行新居浜支店	神野 勝太
10/31		村上 徹	加賀工業(株)	青野 正
11/17	黒田 洋一		(株)百十四銀行新居浜支店	西岡 圭
11/17	秦 誠一		加賀工業(株)	青野 正
2/ 2		三谷麻規子	大和証券(株)新居浜支店	嶋田 祐二
2/16		神野 勝太	東和工業(株)	
2/16		清家 敏満	四国電力(株)愛媛支店営業部東予営業所	井石安比古
3/15		武田 康宏	住友生命保険相互会社新居浜支社	鈴木 誠祐
3/16	伊藤 有希		広告会社ナレーション	小野 正師
3/31		磯村 典秀	新居浜LNG(株)	丹 一志
3/31		長田伸一郎	住友化学(株)愛媛工場	丹 一志
3/31		吉村 正明	(株)広島銀行新居浜支店	松尾 嘉禮
4/20	安西 創		大和証券(株)新居浜支店	嶋田 祐二
4/20	田中 英二		四国電力(株)愛媛支店営業部東予営業所	井石安比古
5/11	小林 勝彦		新居浜LNG(株)	丹 一志
5/11	梶原 浩充		(株)広島銀行新居浜支店	松尾 嘉禮
5/25	小野 祐也		住友生命保険相互会社新居浜支社	鈴木 誠祐
6/16		大場 浩正	住友金属鉱山(株)別子事業所	丹 一志
計	12名	11名		

正 会 員 数	
7 月 末	69名
8 月 末	69名
9 月 末	70名
10月 末	68名
11月 末	70名
12月 末	70名
1 月 末	70名
2 月 末	67名
3 月 末	64名
4 月 末	66名
5 月 末	69名
6 月 末	68名

おのこの物そして心の両面の10%をささげ、
世界に平和と健康をつくりだす人を一。



PEACE・HEALTH & HUMAN DEVELOPMENT

PHD箱寄付金報告（インターアクト委員会）

6月合計額	3,196円
2022－23年度累計額	59,594円
昭和57年5月13日スタート以降の累計額	1,907,993円

編集後記

2023-2024年度の会報委員会を秋田副委員長、青野委員の少数精鋭の老若男女で担当させていただきますので、一年間よろしくお願いいたします。私自身にとっては、15年振りの再登板です。会報委員会の役割について改めて確認したところ、「ロータリー手引き（第五版）」には次のように書かれています。

「会報の刊行によって、関心を促して出席の向上を図り、近づく例会のプログラムを発表し、前回の例会の重要事項を報告し、親睦を増進し、全会員のロータリー教育に寄与し、クラブ、会員、及び世界各地のロータリー・プログラムに関するニュースを伝えるべく努める役割」

とあります。この役割をすべて果たすことは困難ではありますが、その役割を再認識すると共に、明星会長の「ロータリーをもっと楽しもう」という方針の実現に貢献できるように積極的に活動を行ってまいりたいと思います。

会員の皆様方には、多くの原稿依頼をお願いすることになりますが、どうか「奉仕の精神」でもって、ご理解とご協力をお願いいたします。

ホームページアドレス
<http://www.niihama-rc.jp>



例会場 リーガロイヤルホテル新居浜
事務所 リーガロイヤルホテル新居浜

会 長 明 星 元

例会日（木曜日）12:30～13:30
〒792-0007 新居浜市前田町6-9
TEL (0897) 34-6767 FAX (0897) 35-1321
ロータリー口座 伊予銀行 新居浜支店 普 4093994
幹 事 西 岡 圭

-
- 発行所 新居浜ロータリークラブ 会報委員長 妹 尾 次 郎
 - 印刷所 東田印刷株式会社